

健脚の「配達教師」も登場

年 組 名前

新聞が毎日各戸に届く、現在では当たり前の「戸別配達」は、いつ、どのように始まったのでしょうか。戸別配達の始まりを、記事から読み取りましょう。

① 次の語句の読み方を書き、意味も調べましょう。

顧客――

迅速――

健脚――

賄――

② 戸別配達は、明治時代の書店販売が起源です。具体的に書店はどうしたのか、記事から抜き出しましょう。

③ やがて新聞の発行部数が増えると、各地に何が登場して戸別配達をしたのですか。

④ 上田市出身の萩原豊雄さんが、「配達教師」として雇われた経緯を、記事からまとめましょう。

⑤ 1937（昭和12）年3月28日付朝刊で取り上げている子どもたちは、何を賄うために新聞配達をしましたか。

健脚の「配達教師」も登場

新聞が毎日各戸に届く、現在では当たり前前の「戸別配達」は、発行が始まった明治時代の書店販売が起源です。

当時の新聞販売は、郵送と戸長による配布のほか、書店で行われていました。書店が顧客サービスとして、店から一定の範囲に新聞を配達するようになったのが始まりです。やがて発行部数が増え、新聞を専門に扱う売りさばき所が各地に登場して

1873(明治6)年～ 本紙データベースでたどる ⑩



各地に新聞店 広がった戸別配達

無 中 年 日二月五年十四治明 (可認物便郵種三第)

特別廣告

桑苗 右御引立を以て時今風返四ツ目二更級部小松原 野 口 文 徳

桑苗 桑苗生二二年生小牧十文字赤木小坂市平屋返信夫鶴田丸奈十文字高助真頭部下取助友之助 小林與助 眞秋五郎製販販

信濃毎日新聞 専属賣捌所設置

南安に於ける本社の大発展。我が信濃毎日新聞社は今同南安盛部に於ける諸君に對し其の購讀配達の便宜迅速を圖る爲め同部盛部に専属賣捌所を設け従來の賣捌所野新開店の手を離れて獨立致す。敏速なる行動を爲す事となせり。以て今後益々諸君の愛顧に背かざらん事を期す。

飯山土産

下水内教育會の招きに応じて、廿七日飯山に赴き、演説前後の時間を利用して、飯山土産の買入。見れば、部感、氏不信、間の意、すべし。

1907(明治40)年5月2日付信毎に掲載された専売所設置広告

戸別配達で新聞を広めます。現在はオートバイや車も使う

戸別配達ですが、かつては配達員の脚力が頼りでした。1923(大正12)年3月11日の信濃毎日新聞朝刊に、小諸町(現・小諸市)の竹沢新聞店が早く配達するための走法も教える「配達者を物色するにあり」として、

雄々し新聞配達から 今ぞ巣立ちの羽搏き

少年・本紙専賣店で壯行會

【伊那電】此頃の晩伊那郡通町本紙専賣所田中新聞店の奥敷で水入りの小さな特別會が開かれた。この日は同店、昭和十年春以來配達員として勤務して来た少年組が、同郡通町小牧小學校高等科三年生として巣立ちの職につくこととなつたので、店主田中氏も出席となり、配達少年組を勸勵して、三書の送別會が開かれたもの、この若輩生は同町田中行善(伊那小本初登)同奮出止(伊那)。



て木工科 教授で實習教育

三君は小學校六年を卒業、直ちに他所へ行くことになつたのを悲しみ、せめて高等科だけ卒業してゆきたいと志願を決議

(2021年6月21日朝刊・第三社会面)

各地のマラソン大会で活躍していた上田市出身の萩原豊雄さんを「配達教師」として雇います。萩原さんはそれまで1日がかかりだった往復約8里(31km)、360戸の配達を4時間に短縮し「読者側の喜びも一通りではない」と歓迎されます。他の配達員の指導にも当たったとのこと。

子どもたちも配達を支えていました。1937(昭和12)年3月28日の信毎朝刊は、伊那町(現・伊那市)の田中新聞店で開いた新聞少年3人の送別會を取り上げています。高等小学校(現在の中学校に相当)に通う学費を賄うため2年間、新聞配達をやり通した少年たちの門出を、配達部少年組が祝って送り出しました。

〈月曜日に掲載します〉

1937(昭和12)年3月28日付朝刊に掲載の新聞少年送別會の記事

健脚の「配達教師」も登場

解答例

年 組 名前

新聞が毎日各戸に届く、現在では当たり前の「戸別配達」は、いつ、どのように始まったのでしょうか。戸別配達の始まりを、記事から読み取りましょう。

① 次の語句の読み方を書き、意味も調べましょう。

（こきやく） （こかく）

顧客 — お得意の客

（じんそく）

迅速 — 物事の進み方がきわめてはやいこと。すみやかなこと

（けんきやく）

健脚 — 足が丈夫で歩行の達者なこと。また、その足

（まかな） う

賄 — 食事を整えて出す。とりはからう。処置する

② 戸別配達は、明治時代の書店販売が起源です。具体的に書店はどうしたのか、記事から抜き出しましょう。

【解答】 書店が顧客サービスとして、店から一定の範囲に新聞を配達するようになった

新聞を配達するようになった

③ やがて新聞の発行部数が増えると、各地に何が登場して戸別配達をしたのですか。

【答え】 新聞を専門に扱う売りさばき所

④ 上田市出身の萩原豊雄さんが、「配達教師」として雇われた経緯を、記事からまとめましょう。

【解答】 〔例〕小諸町（現・小諸市）の竹沢新聞店の店主が、新聞を早く配達するための対策として健脚者を探していて、各地のマラソン大会で活躍していた萩原さんに目が留まったから

⑤ 1937（昭和12）年3月28日付朝刊で取り上げている子どもたちは、何を賄うために新聞配達をしましたか。

【解答】 高等小学校（現在の中学校に相当）に通う学費